

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況の青森県への報告について

2026年4月28日

東京電力ホールディングス株式会社

青森事業本部

東通原子力建設所

当社は、2011年11月に受領した、青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた青森県知事からの要請に基づき、2012年以降、毎年4月にその対応状況を報告しております。

このたび、2025年4月～2026年3月における対応状況を取りまとめ、本日、青森県に報告いたしましたのでお知らせいたします。

以上

○添付資料

- ・青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について（2026年3月末現在）

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
青森事業本部 広報グループ 0175-45-7052（ダイヤル）

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた
県の確認・要請に対する対応状況について
(2026年3月末現在)

2026年4月

東京電力ホールディングス株式会社

目 次

1. はじめに	1
2. 対応状況（県内事業者間による連携強化）	1
a. 平常時における安全管理等に係る協力活動	1
b. 訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動	2
c. 取り纏め	2
3. 今後の予定	2
添付資料	
「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容 (2025年4月～2026年3月)	3

1. はじめに

2011年3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故から15年余りが経過しているにも拘らず、今なお、青森県の皆さまをはじめ、社会の皆さまにご迷惑とご心配をおかけしておりますことに対し、改めて深くお詫び申し上げます。

引き続きプラントの安定状態の維持に取り組むとともに、福島第一原子力発電所の着実な廃炉の推進を中長期にわたって進めていくことにより、避難されている方々のご帰宅の実現および社会の皆さまが安心して生活いただけるよう、全力で取り組んでまいります。

当社、東通原子力発電所は、2011年3月末時点において、総合進捗率約10%となっておりましたが、今回の事故を踏まえ、本格工事を見合わせているところであります。

このような状況の中、当社は、青森県知事より、青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた要請を受け、「青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について（2025年3月末現在）」を2025年4月25日に報告しておりますが、この報告以降から2026年3月末までの取り組み状況について、以下のとおり報告いたします。

2. 対応状況（県内事業者間による連携強化）

2011年12月9日に締結した「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく「原子力安全推進協議会」および「原子力安全推進作業会」を以下のとおり開催し、青森県内における原子力災害への対応能力向上のための活動等に係る相互協力を行っております。

- ・原子力安全推進協議会：2025年10月16日，2026年3月26日
- ・原子力安全推進作業会：2025年6月25日，9月24日，12月24日，
2026年2月25日

上記会議に基づく具体的な活動について、以下のとおり実施致しました。

a. 平常時における安全管理等に係る協力活動

① 講演会等の相互参加

②各事業者にて実施している新規制基準への適合審査に関する情報共有

③各事業者にて実施している防災業務計画見直しに関する情報共有

b. 訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動

①各社が日常的に行っている防災訓練（要素訓練）の相互視察（参加）及び、
県の防災訓練に参加

②東北電力株式会社，日本原燃株式会社及びリサイクル燃料貯蔵株式会社にて
実施した原子力防災訓練に関する情報共有

c. 取り纏め

- ・ 2026 年度の活動計画作成

3. 今後の予定

2011 年 12 月の「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」の締結以降、「県内事業者間による連携強化」に関する活動を行ってきました。2026 年度以降も引き続き、「同協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に向けて取り組んでまいります。

以 上

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容
(2025年4月～2026年3月)

活動項目	活動内容	備考
a. 平常時における安全管理に係る協力活動	①講演会等の相互参加 ・【電源開発(株)】安全文化講演会 (9/30) 「属人化」の解消に向けて ・【日本原燃(株)】安全文化講演会 (11/10) 組織文化の醸成 ・【東北電力(株)】品質月間講演会 (12/12) Safety-II方法論の効果的実装法について ・【リサイクル燃料貯蔵(株)】安全文化講演会 (2/18) 安全とは ②各事業者にて実施している新規制基準への適合審査に関する情報共有 ③各事業者にて実施している防災業務計画見直しに関する情報共有	次年度以降も継続実施
b. 訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動	①各社が日常的に行っている防災訓練(要素訓練)の相互視察(参加)及び、県の防災訓練に参加 ・【日本原燃(株)】後方支援拠点訓練の視察 (8/28) ・【東北電力(株)】発電所対策本部訓練(図上演習)の視察 (9/17) ・【日本原燃(株)】原子力事業者防災訓練の参加と視察, 通報連絡訓練(FAX着信確認)の参加 (11/11) ・【東北電力(株)】原子力事業者防災訓練の視察 (12/23) ・【リサイクル燃料貯蔵(株)】原子力事業者防災訓練の視察 (1/27) ・【青森県】原子力防災訓練(11/13) ②東北電力株式会社, 日本原燃株式会社及びリサイクル燃料貯蔵株式会社にて実施した原子力防災訓練に関する情報共有	次年度以降も継続実施
c. 取り纏め	・2026年度の活動計画作成	本計画に基づき2026年度の活動を実施